

OWL 仕事研究会 第129回

OWL (アウル/Original Working Life)仕事研究室では、様々な生き方・働き方・考え方に接し、交流し合う中から、自らが主体的に仕事と人生を考え、築いていくための「交流港」をつくるべく、OWL 仕事研究会を1993年4月より公開で実施してきました。

「仕事観」をメインテーマに、現代社会におけるこれからの「個人の働き方」「企業 組織のあり方」「教育の問題」など、気軽な雰囲気でご意見を交換しています。

皆様の熱心なご参加をお待ちしています。

日時 2006年4月21日(金) 18:30-20:30

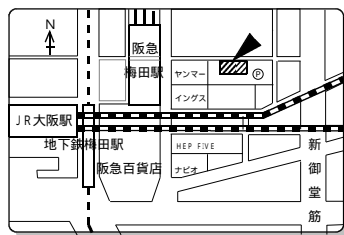
会場 梅田東生涯学習ルーム
E 会議室/2F

TEL 06-6359-5832

大阪市北区茶屋町1-40 元小学校舎

JR大阪駅、地下鉄：阪急梅田駅より

徒歩約5分、ヤンマーディーゼルの東隣



話題提供 太田 肇/同志社大学教授

「“外向きサラリーマン”のすすめ」

「日本型成果主義」は、社員の意識をいっそう内向きにした。ポスト工業化社会には、組織の内側ではなく外側、すなわち顧客や市場と向き合って仕事をする「外向きサラリーマン」しか生き残れない。中国民营企业の動向、国内企業の事例などをもとに、「外向きサラリーマン」の働き方を考える。そして、外向きで働くことによってどんな世界が開けてくるかをみていく。

おおた はじめ

1954年兵庫県生まれ。神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程修了。

著書：『プロフェッショナルと組織』(1993同文館)、『日本企業と個人』(1994白桃書房)、『個人尊重の組織論』(1996中公新書)、『仕事人の時代』(1997新潮社)、『仕事人と組織』(1999有斐閣)、『「個性」を活かせる組織』(2000日本経済新聞社)、『ベンチャー企業の「仕事」』(2001中公新書)、『困り込み症候群』(2001ちくま新書)、『選別主義を超えて』(2003中公新書)、『認められたい!』(2005日本経済新聞社)、『「外向きサラリーマン」のすすめ』(2006朝日新聞社)ほか

定員 20人

参加費 一般:1,000円、30歳未満:500円、会員:無料

参加申込 OWL 仕事研究室へ前日までに電話・FAX・E-mailでお申し込みください。

主催 OWL 仕事研究室 URL <http://homepage3.nifty.com/OWL/>
TEL&FAX 0729-56-7484 E-mail BZY12347@nifty.ne.jp
大阪府羽曳野市羽曳が丘西 3-6-21 〒583-0865